

2024年10月29日

SBT認定取得に向けたコミットメントレターの提出

株式会社ヤクルト本社（社長 成田 裕）は、パリ協定^{※1}が定める水準に整合し、科学的根拠に基づいた温室効果ガス排出削減目標である「SBT（Science Based Targets）」^{※2}の2年以内の設定を表明するコミットメントレターを、認定機関であるSBTイニシアチブ（SBTi）^{※3}に提出し、10月25日に受領されましたのでお知らせします。

今後当社は、気候変動対応の取り組みを加速させ、持続可能な社会の実現を目指します。

ヤクルトグループでは、人と地球の共生社会の実現を目指す「ヤクルトグループ 環境ビジョン」の達成に向けて、サプライチェーン全体での温室効果ガス排出の削減を進め、コーポレートスローガンである「人も地球も健康に」に基づき、地球環境の保全に積極的に貢献していきます。

◆「ヤクルトグループ 環境ビジョン」特設ページ

環境ビジョンに関する詳しい情報は、当社ウェブサイトの特設ページをご覧ください。

[URL] <https://www.yakult.co.jp/company/sustainability/environment/vision/>

- ※1 パリ協定とは、世界の気温上昇を産業革命前より2℃を十分に下回る水準に抑え、また、1.5℃に抑えることを目指す、世界的に合意された気候変動対策に対する国際的な枠組みです。
- ※2 SBT（Science Based Targets）とは、企業がパリ協定で定める水準に整合し、科学的な根拠に基づいた温室効果ガス排出削減目標のことです。
- ※3 SBTイニシアチブ（SBTi）とは、CDP、世界資源研究所（WRI）、国連グローバル・コンパクト（UNGC）、世界自然保護基金（WWF）による共同イニシアチブであり、企業に対して科学的根拠に基づく温室効果ガス排出削減目標を立てることを支援・認定する機関です。

以上